



2026年4月30日

各 位

会 社 名 株式会社エフピコ
代表者名 代表取締役会長 佐藤 守正
(コード番号 7947 東証プライム)
問合せ先 専務取締役経理財務本部本部長 池上 功
(TEL. 03-5325-7756)

固定資産の取得（新工場・新配送センター建設）に関するお知らせ

当社は、本日2026年4月30日開催の取締役会において、新素材「超高剛性2軸延伸ポリプロピレンシート（製品名「OPTENA」、以下「新OPPシート」）」の本格的な量産体制確立による非食品分野への事業領域拡大、並びに需要増加が見込まれる首都圏エリアにおける安定供給体制の更なる強化を図るため、下記のとおり固定資産を取得することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 取得の理由

① 新素材「新OPPシート」の製造拠点

当社は、2024年4月に新OPPシート（製品名「OPTENA」）及び積層OPPプレート（製品名「FORTENA」）の開発成功を公表いたしました。これらの新素材は、優れた耐熱性、耐寒性、耐油性、耐薬品性に加え、極低温から高温までの幅広い温度域で高い剛性と耐衝撃性を発揮する、優れた物性バランスを備えております。その高い物性により、冷凍食品などの食品容器用途にとどまらず、土木建設資材、住設、装置産業部材、太陽電池、モビリティ等、幅広い産業分野への展開が可能となります。特に二輪・四輪メーカー各社からは、軽量化やリサイクル材の使用率向上に寄与する高機能素材として高い評価を得ております。これら広がりゆく市場の期待にいち早くお応えし、事業領域を飛躍的に拡大させるべく、本格的な量産体制の構築が必要であると判断いたしました。

本新工場は、建設用地取得時点では既存食品容器の生産能力増強を想定しておりましたが、その後の新OPPシートの開発成功を受け、既存用途の枠を超えた次なる成長の柱となる戦略拠点と位置づけることといたしました。新工場には新

OPPシート製造装置に加え、同素材を使用した食品容器の成形機を導入し、2029年前半の商業生産開始を目指しております。

なお、本新工場で生産された新OPPシートの一部を、積層OPPプレートの原料として使用いたします。本新工場近隣である茨城県古河市の工場用地取得を2026年3月に決議しており、本新工場の商業生産開始後、古河工場(仮称)にて積層OPPプレートの生産を行う予定です。

② 首都圏エリアにおける安定供給体制の強化

昨今の環境意識の高まりを背景としたエコ製品等の需要増加に伴い、首都圏エリアにおける物流量の増大が見込まれます。これらに対応するため、本新工場に既存製品の配送センターを併設し、現物流拠点の在庫及び配送エリアを一部移管いたします。関東ハブセンター、八王子配送センター及び坂東配送センター(仮称)の3拠点を首都圏エリアをカバーする新たな物流ネットワークの構築により、同エリアにおける物流能力及び緊急時のバックアップ機能を強化し、安定供給体制をより強固なものいたします。

2. 取得資産(新工場・新配送センター)の内容

(1) 名称	株式会社エフピコ 坂東工場・配送センター(仮称)
(2) 所在地	茨城県坂東市緑の里地内 坂東インター工業団地
(3) 敷地面積	51,819.61㎡
(4) 延床面積	83,103.51㎡
(5) 構造	鉄骨造 地上4階建て
(6) 投資総額	約580億円(概算) ※内訳：生産工場 約410億円 配送センター 約170億円
(7) 資金計画	自己資金及び借入金

3. 取得の日程

(1) 取締役会決議日	2026年4月30日
(2) 着工予定	2026年5月
(3) 竣工予定	2028年9月

4. 今後の見通し

新工場・新配送センターの竣工は、2028年9月を予定しており、当期の連結業績に与える影響はございませんが、今後開示すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

以 上